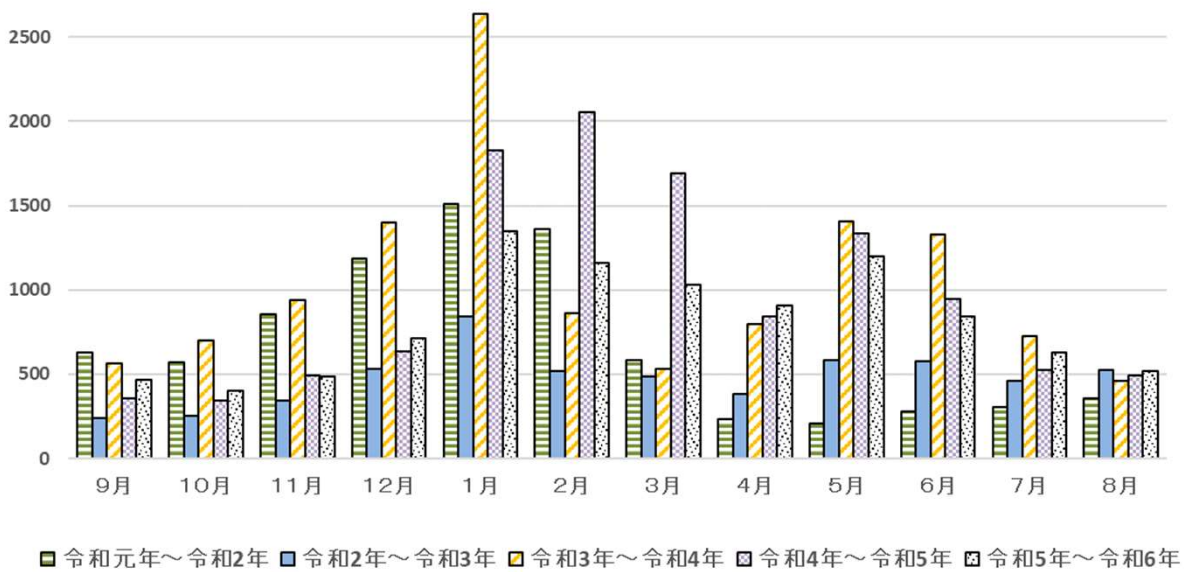


感染性胃腸炎に注意

「感染性胃腸炎」とは

- ・原因：ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルス等
- ・流行時期：毎年秋から冬にかけて患者が多くなりますが、1年中、患者は発生しています。
- ・症状：発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛等がみられます。
子どもや高齢者は重症化しやすく、注意が必要です。
- ・感染経路：病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）
汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）

宮城県における感染性胃腸炎発生状況（過去5年月別発生状況）



予防するためのポイント

- ①手をよく洗う
トイレの後、食事の前、調理の前には石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- ②調理器具の消毒
まな板、包丁、ふきん等はその都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒しましょう。
- ③食品の取扱い
食品は十分に洗い、二枚貝を調理する場合は、中心部までよく加熱しましょう。
※加熱は、85～90℃で90秒以上加熱することが望ましいです。

下痢などの症状がある場合は

- ・早めに医療機関を受診しましょう。
- ・入浴はできるだけ湯船に入らず、シャワー等で済ませましょう。
- ・バスタオルや手拭きタオルは共有せず、個別のものを準備しましょう。
- ・嘔吐物や便の処理は、使い捨てマスクや手袋を着用の上、飛び散らないように処理し、**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒剤）**で消毒しましょう。
※アルコール系消毒剤では十分な効果は期待できません。